



Copyright © 2020 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
- 3. 機能一覧
- 4. システム要件
- 5. 検証済み環境
- 6. 制限事項
- 7. 保証規程
- 8. 著作権および特記事項

改訂情報

変更年月日	変更内容
-------	------

2020-12-01	初版
------------	----

はじめに

目次

- 本書の目的
- 製品の利用対象

本書の目的

本書では Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) のリリース内容について記載しています。

製品の利用対象

次の利用を対象としています。

- intra-mart Accel Documents 上で、Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) を利用する方

目次

- [はじめに](#)
- [基本機能](#)
- [セキュリティ機能詳細](#)

はじめに

Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) は、intra-mart Accel Documents からダウンロードするPDFファイルにセキュリティを付与するオプション製品です（Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) にPDF生成機能はありません。PDFを生成する場合は、別途 IM-PDFAutoConverter for Accel Platform が必要となります）。

intra-mart Accel Documents からの呼び出しで、以下の機能を利用可能とするエンジン部分です。この製品自体にGUI機能やインタフェース機能はありません。

- 「セキュリティ付きPDFの作成」
- 「配布制限付きPDFの作成」

Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) は、利用人数によって価格が決まる製品です。

Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) を動作させるためには、Windowsの環境が必要です。intra-martサーバがLinuxの場合、別途Windows上にPDF処理サーバを構築して頂く必要があります。

以下に、本製品の機能一覧を列挙します。

本製品をインストールするサーバのOSのロケールは以下に対応しています。

- 日本語

各機能の仕様や設定方法に関しては、各マニュアルまたはセットアップガイド等を参照してください。

基本機能

機能	機能概要
----	------

機能	機能概要
PDFファイルへのセキュリティ付与	<p data-bbox="475 159 1390 232">intra-mart Accel Documents からダウンロードするPDFファイルに、セキュリティを付与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="501 277 1273 306">■ intra-mart Accel Documents のオプション機能です。 <li data-bbox="501 338 1426 546">■ Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) を利用するためには、別途 intra-mart Accel Documents が必要です。Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) 単体ではご利用いただけません。 <li data-bbox="501 577 1426 786">■ Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) はPDFファイルにセキュリティを付与します。このため、PDF以外のファイルにセキュリティを付与する場合は、別途 PDF変換機能をもつ IM-PDFAutoConverter for Accel Platform が必要です。 <li data-bbox="501 817 1426 1025">■ 本製品は、intra-mart Accel Documents との連携以外の目的ではご利用いただけません。intra-mart Accel Documents との連携以外の目的で本製品を利用する場合は、IM-PDFCoordinator for Accel Platform をご検討ください（ライセンス体系が異なりますのでご注意ください）。 <li data-bbox="501 1057 1426 1960"> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="501 1057 699 1086">■ サーバ構成 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="584 1117 1426 1368">■ 基本的には「リモート呼び出し方式」（SOAPを使用）を推奨しております。各APサーバにインストールすることも可能ですが、APサーバ台数分のライセンスが別途必要ですのでご注意ください。「リモート呼び出し方式」と「各APサーバにインストールする方式」は設定ファイルで切り替えが可能です。 <li data-bbox="501 1400 847 1429">■ リモート呼び出し方式 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="584 1460 1426 1711">■ 標準的な利用方法です。別サーバ上に構築しているPDFセキュリティ付与機能を、intra-mart Accel Platform から呼び出す機能です。この機能はAPIで提供され、開発者はリモート呼び出しを意識することなくAPIを呼び出すことでPDFセキュリティ付与機能が利用できます。APサーバが1台の場合でも、この方式で対応可能です。 <li data-bbox="584 1742 1315 1771">■ この機能は設定ファイルで利用可否を指定できます。 <li data-bbox="584 1803 1426 1960">■ リモートサーバ（SOAP）が複数台存在する場合、負荷分散のために自動的にラウンドロビンで処理を振り分けます。リモートサーバ（SOAP）を追加することで上位プログラムを変更することなくスケールアウトが可能です。

機能	機能概要
セキュリティ付きPDF	標準的なセキュリティ（パスワードによる閲覧/参照/更新/印刷等の制限）が設定されたPDFファイルに変換する機能です。
配布制限付きPDF	特定の条件で内容を参照できるように配布制限（ダウンロード制限、有効期限）が設定されたPDFファイルに変換する機能です。

システム要件

目次

- [Accel Documents Secure Download Option \(PDFセキュリティインタフェース\) のサーバ要件](#)
 - [バージョンと連携エンジンの整合性確認表](#)
- [クライアント要件](#)
- [ライセンス要件](#)

当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) のサーバ要件

- Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) は intra-mart Accel Documents 上で動作する製品です。
- Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) は下記の intra-mart Accel Documents に対応します。
Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) を動作させるために必要となるシステム要件については、intra-mart Accel Documents のシステム要件に準拠します。
- Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) は、PDF処理サーバが必要です。
- PDF処理サーバとしては以下のOSが必須です。
Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2
- APサーバがLinuxの場合には、APサーバとは別にWindowsサーバが必要です。
LinuxサーバとWindowsサーバ間の通信を行う機能は標準で用意されています。
- IM-PDFAutoConverter for Accel Platform が必要になります。
- intra-mart Accel Platform 2013 Autumn - 2016 Summer にインストールする場合は、IM-Jugglingリポジトリ経由ではなくユーザモジュールによる実装となります。

バージョンと連携エンジンの整合性確認表

本製品は連携するライブラリのインストールが必要です。

対応しているバージョンは以下になりますので、正しい組み合わせでご使用ください。

アップデートバージョン	連携ライブラリバージョン
2012 Winter (8.0.0)	PDFメイクアップ 2.8.1
2014 Spring (8.0.1)	PDFメイクアップ 3.0.0.3

アップデートバージョン	連携ライブラリバージョン
2014 Winter (8.0.3)	PDFメイクアップ 3.3.0
2014 Spring (8.0.4)	PDFメイクアップ 3.4.1
2016 Spring (8.0.5)	PDFメイクアップ 3.7.1
2016 Winter (8.0.6)	PDFメイクアップ 3.7.1
2017 Spring (8.0.7)	PDFメイクアップ 3.8.2
2017 Summer (8.0.8)	PDFメイクアップ 3.8.6
2017 Winter (8.0.9)	PDFメイクアップ 3.8.6.1
2018 Spring (8.0.10)	PDFメイクアップ 3.8.6.2
2018 Winter (8.0.11)	PDFメイクアップ 4.0.0.11
2019 Spring (8.0.12)	PDFメイクアップ 4.0.1.0.3
2019 Summer (8.0.13)	PDFメイクアップ 4.0.1.0.7
2020 Spring (8.0.14)	PDFメイクアップ 4.0.3.6
2020 Summer (8.0.15)	PDFメイクアップ 4.0.3.6
2020 Winter (8.0.16)	PDFメイクアップ 4.0.6

クライアント要件

Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) でセキュリティを付与したPDFファイルを開覧する際には、Adobe Reader等のPDF閲覧ソフトが必要です。

配布制限の機能については、Windows上のAdobeReader/AdobeAcrobatでの閲覧が前提です。

AdobeReader/AdobeAcrobat以外の環境はサポート対象外です。

AdobeReader/AdobeAcrobatに起因するトラブルについてはサポート対象外です。

事前に想定しているPDF閲覧環境にて必ず動作をご確認ください。

- [セキュリティ機能の動作条件.pdf](#)



コラム

タブレット/携帯端末においてPDFファイルを開覧する際は、[タブレット/携帯端末においてPDFファイルを開覧する際の注意点](#)を参照してください。

ライセンス要件

- 動作させるには IM-PDFAutoConverter for Accel Platform も同時に購入が必要です。
- 本番マシン/試験マシン/開発マシン毎に環境を分けたい場合、各環境ごとにライセンスのご購入が必要です。
- Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) を分散構成で利用する場合、インストール数分（APサーバ分または分散サーバの台数分）のライセンスが必要になります。
- ライセンス購入価格については、intra-mart特約店にお問い合わせください。
- 年間保守契約に加入しているユーザは、製品に関する問い合わせおよび、製品のバージョンアップを受けることができます。詳細は営業までお問い合わせください。

検証済み環境

以下、弊社動作検証済みの組み合わせです。

サーバ環境

intra-mart Accel Platform

intra-mart Accel Platform	OS	JDK	Web Application Server
2020 Winter(Azalea)	Windows Server 2019 日 本語版	Oracle JDK 11.0.7	Resin 4.0.64
2020 Winter(Azalea)	Windows Server 2019 日 本語版	Oracle JDK 11.0.7	Payara Server 5.2020.2
2020 Winter(Azalea)	Red Hat Enterprise Linux 7.7	OpenJDK 11.0.6	Resin 4.0.64
2020 Winter(Azalea)	Red Hat Enterprise Linux 7.7	OpenJDK 11.0.6	Payara Server 5.2020.2

PDF処理サーバ

OS	JDK	Web Application Server	連携エンジン
Windows Server 2019 日 本語版	Oracle JDK 11.0.7	Tomcat 8.5.54	PDFメイクアップ 4.0.6

目次

- 共通の制限事項
- サポートするPDFファイルの制限
- PDF生成ソフト以外の注意事項
- セキュリティ機能の動作条件
- タブレット/携帯端末においてPDFファイルを閲覧する際の注意点
 - 原因
 - 対応策
 - 注意点

共通の制限事項

- Linux、UNIX OSでの利用については、個別に営業までお問い合わせください。
- 本セキュリティ適用時に、対象PDFファイルの 注釈・フォーム・しおり・リンク・署名等は削除されます。このため、ファイルの見た目が変更になってしまう可能性があります。これらの情報が必要な場合は、印刷して再度PDFを作成してください。
- Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) では、リモート呼び出しの技術 (SOAP) を利用しているため、サーバの該当ポートを空けて頂く必要があります。
- 利用環境のJDKは必ずは統一してください。バージョン、ビット数の異なるJDKを混在しての運用はサポート対象外です。
- ウイルスソフトによっては、ウイルスチェック時にファイルを掴むものがあります。PDF処理に影響がでる場合は、作業フォルダをウイルスチェックの対象から外す必要があります。
- Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) と IM-PDFAutoConverter for Accel Platform を同一サーバ上で同居させる場合には、環境変数 PATH の設定順序を、
 - (1). Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) (PDFメイクアップ) →
 - (2). IM-PDFAutoConverter for Accel Platform (PDFオートコンバータEX)の順番とする必要があります。上記の順番で設定がされていない場合、エラーとなります。詳細はセットアップガイドを参照してください。
- Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) と IM-PDFAutoConverter for Accel Platform を同一サーバ上で同居させる場合、IM-PDFAutoConverter for Accel Platform の起動ユーザには管理者権限が必須です。PDF変換サーバ (Windows) では、Tomcatの起動ユーザが該当します。うまくPDF変換できない等の場合は、まずユーザ権限をご確認ください。
- 電子署名を利用したシステムを検討されている場合は必ず事前にご相談ください。電子署名を付

サポートするPDFファイルの制限

サポート対象のPDFファイルは、以下となります。

- IM-PDFAutoConverter for Accel Platform から出力されたPDFファイル
- 富士ゼロックス社製の複合機等から出力されたPDFファイル

上記作成後に、加工されたPDFファイルは対象外です。

以下はバージョンアップ等を常にウォッチして動作確認をしているPDFファイルの範囲です。下記以外のPDFファイルは対応出来ないものがあります。必ず事前に確認をお願い致します。

- [サポートするPDFファイルの範囲.pdf](#)

上記以外のファイルも対応可能なケースがありますので、個別に営業までご相談ください。

PDF生成ソフト以外の注意事項

以下のケースはサポート対象外です。

- PDFファイルにオープンパスワードが付与されており、オープンパスワードがわからない場合
- PDFファイルにセキュリティパスワードが付与されており、セキュリティパスワードがわからない場合
- PDFファイルに電子署名が付与されている場合
- PDFファイルのポートフォリオ機能が利用されている場合

上記以外の制限については、必ず事前に以下のドキュメントを確認ください。

- [サポートするPDFファイルの範囲.pdf](#)

セキュリティ機能の動作条件

セキュリティ機能には、セキュリティ強度に関する注意事項があります。必ず事前に以下のドキュメントを参照してください。

- [セキュリティ機能の動作条件.pdf](#)

タブレット/携帯端末においてPDFファイルを閲覧する際の注意点

モバイル端末（iOS やAndroid 等の非WindowsOS）にてPDFファイルを閲覧する場合、PDFファイルにフォントが埋め込まれていないと、PDFファイルの見目が崩れる可能性があります。

原因

製品のデフォルトの設定においては、PDFファイル内部では、フォント名・フォントサイズなどのデータが格納されており、フォントファイル自体は存在していません。

通常PDF ファイルを表示する場合、フォント名・フォントサイズなどのデータを閲覧する機器内のフォントファイルを利用し表示されています。

AdobeReader の場合は該当フォントが端末上に存在しない場合はそのフォントに近い代替フォントを表示させる機能（すべてのフォントの代替はしない）があります。

PC やモバイル端末においては同じフォントが存在しない場合があります（特に利用頻度が高いMicrosoft系のフォントは、通常は Windows にしか入っていません）。

PDF ファイルを表示した場合、フォントの幅等が違うものが参照され、対象ドキュメントの表示が崩れた状態となります。

対応策

フォント埋め込み済みのPDFファイルの場合、参照フォント情報はPDFファイル内のものから対応し、正確な表示となります。

モバイル端末でPDF ファイルを表示させる場合は、必ずフォントの埋め込み処理を行い、表示の崩れを防いでください。

フォント埋め込みの設定方法については、各製品のマニュアルを参照ください（一部の製品はフォント埋め込みに対応していません。個別に営業までお問合せください。）。

注意点

PDF にフォントを埋め込む場合、参照フォント領域がPDF に追加される為、出力されるPDF ファイルのサイズが大きくなります。

これはPDF ファイルの仕様です。

どれくらいファイルサイズが大きくなるのかに関しては、実際のファイルにて事前にご確認ください。

保証規程

目次

- 保証内容及び対象
- 保証の適用除外
- 免責
- その他の契約との関係

保証内容及び対象

この保証規程（以下、「本書」という。）並びに貴社が当社と締結した一切の契約が定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）

及び制限事項の範囲内にて貴社が本製品を利用することを条件として、当社は貴社に対し、本製品に同封され、又は当社ホームページ（<http://www.intra-mart.jp/document/library/?product=iad>）に

掲載されているマニュアルの最新版のとおり本製品が動作することを保証します。

なお、当該保証は、貴社における内部的使用を目的とする限りにおいて適用されるものです。

また、当該保証は、当社の一方的な裁量により、無償で交換若しくは修補、又はかかる本製品の対価として

イントラマートが貴社から受領した金額の返金のいずれかの方法によるものとします。

上記の対応は、正規の当社製品を購入され、適法かつ誤りなくユーザ登録を完了されたお客様のみに当社が行うもので、当社はその他の対応又は保証、特に本製品をインストールしたハードウェア、接続製品、及びそれらに保存されたソフトウェア、データ等の保証（但し、これらに限られない。）は一切行いません。

保証の適用除外

下記の場合は動作保証が適用されません。

- 貴社が、本書又は貴社が当社と締結した一切の契約に定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）
その他の制限事項の定める範囲内にて本製品を利用しなかった場合
- 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害等の外部的事由による誤動作の場合
- 合理的な使用方法に反するご利用に起因する場合
- 貴社あるいは第三者が改変・変更等及びそれらの作業を行ったことに起因する場合
- 本製品以外のソフトウェア、ハードウェア等との互換性の問題から生じる場合

免責

本製品に関する当社の損害賠償責任は、理由のいかんを問わず、
本製品の「ソフトウェア使用許諾契約書」に定める責任の限定の範囲内といたします。

その他の契約との関係

本製品の保証に関して、貴社が当社と締結した一切の契約と本書の間に齟齬がある場合には、
本書の記載が優先するものとします。

著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

Oracle と Javaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上